



コミスク教育目標 「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

## 氷点下の朝 春はすぐそこまで来ています

氷点下1℃の寒い朝、白い息を吐きながら自転車通学をする中学生の姿に、元気をもらう毎日です。冷たい風を受けて、手も顔も真っ赤になりながら一心に自転車をこぐ姿は、凛としていて、頼もしく見えます。

今年度も残りわずか。すべての子ども達が、自転車のペダルをこぐように一歩また一歩と、たくましく前進してくれることを願うこの頃です。

深い雪に悩まされた2月も終わり、3月がすぐそこまで来ています。生徒玄関前に置かれた紅梅が真っ赤な花を咲かせ、74名の旅立ちを祝福しているようです。今日は期末テスト2日目。3年生が登校するのは、残り12日となりました。



### 調理実習その1 具たくさん 栄養満点の「豚汁」で ほっこり



給食センターの中西さん(栄養士)をお招きして、1年生が家庭科で調理実習を行いました。1回目は豚汁。班で役割分担しながら、材料を切ったり、味付けをしたり……。意外にも慣れた手つきで調理を進め、短時間で美味しい豚汁が完成しました。野菜のうまみが生かされた、美味しい豚汁でした。



### 調理実習その2 えっ 手で調理? 手開きで「いわしの蒲焼き」に挑戦!

脂がのって美味しいいわしを蒲焼きに、ということで2回目は魚の調理。包丁で頭を落とした後は手で内臓をとって、背骨にそって身を開いて……。時々悲鳴に近い声も聞かれました。おそろおそろ身を開き、バットに並べたら、下味を付け、片栗粉をまぶし、熱したフライパンへ。焼き加減を見ながら、甘辛のたれをからめたら完成!



Before



After



初めてとは思えない出来映え。味付けもばっちりでした!

# 八鹿青溪中学校 コミュニティ・スクールのめざす姿

地域や人とのつながりを通し 心豊かな人づくりを

## 『ドリームプロジェクト』 夢が形に 本物のケーキに

2月5日(木)の放課後、試作ケーキ完成の知らせを受けて、3年生の金海さんが、カタシマを訪問しました。スタッフの皆さんに温かく迎えられ、自分がデザインしたケーキを見た瞬間の顔が下の写真! 喜びと感動が全身から伝わってきます。「ドリームプロジェクト」として美術の授業に取り組んだデザイン画の作成。全作品の中から選ばれたのは、金海さんがデザインしたクレープ生地の苺ケーキでした。彼女のデザイン画と夢への思いをそのまま再現し、パティシエの足立さんが色鮮やかな苺ケーキに仕上げてくださいました。完成品は3月1日から養父本店で販売されます。子ども達発信の夢の形が、商品となって地域の人々に届くという「夢のような企画」にご協力くださった関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。



夢や志をもつ子ども、地域や多様な人々と関わる人になってほしい



## プロのイラストレーターから『生き方』を学ぶ 2年美術



講師の余根田直樹さんは、八鹿中学校の卒業生、子ども達の先輩にあたります。養父の道の駅「COINOBA VILLAGE」のショップやレストランのイラストをデザインされているほか、全国各地で作品展を開催するなど大活躍中のイラストレーターです。名刺づくりを通して、創作活動への思いや生き方について聞かせていただきました。

## しまんと新聞ばっぐ インストラクターが 社会と子ども達をつなぐ

1年美術では、長島敏行さんが「しまんと新聞ばっぐ」の指導をしてくださいました。1枚の新聞を選ぶ瞬間から、子ども達の「選択」がスタート。あふれる情報の中から何を選ぶか、そしてそれをどう生かすか、情報社会を生きる子ども達に「社会」や「メディア」について、「活字や広告のメッセージ性」について、教えてくださっているようでした。



新聞で作ったジャケット